

大会名 Competition	第31回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-104	Year Month Day Time 2018 年 5 月 3 日 15 : 25
場 所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB					
中部大第一	<table border="1"> <tr><td>22 1st 18</td></tr> <tr><td>30 2nd 17</td></tr> <tr><td>20 3rd 23</td></tr> <tr><td>26 4th 23</td></tr> <tr><td>E P</td></tr> </table>	22 1st 18	30 2nd 17	20 3rd 23	26 4th 23	E P	洛 南
22 1st 18							
30 2nd 17							
20 3rd 23							
26 4th 23							
E P							
98 ○		81 ●					

主審:Crew chief
小野寺 浩 秋田
副審:Umpire
及川 学 岩手
中道凌平 秋田
テーブル・オフィシャル:Table officials
秋田北鷹

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	中村 拓人	CAP	18	0	8	2	4	4	×	笹山 陸	CAP	7	1	2	0	3
5	×	青木 遥平		10	0	4	2	0	5	×	飯尾 文哉		25	3	8	0	2
6	×	矢澤 樹		27	2	10	1	0	6	×	納土 修太		15	0	5	5	4
7	×	小澤 幸平		0	0	0	0	1	7	／	澁谷 鍊		3	1	0	0	0
8	×	Boubacar N'diaye		8	0	4	0	2	8	／	永山 快		5	1	1	0	1
9		佐藤 優光		-	-	-	-	0	9	×	浅野 龍悟		7	0	3	1	2
10	／	井戸 光邦		2	0	1	0	0	10		西村 慶太郎		-	-	-	-	0
11	／	仲宗根 弘		0	0	0	0	0	11		細井 征		-	-	-	-	0
12	／	深田 怜音		10	1	2	3	0	12	×	星川 堅信		19	2	5	3	0
13		加藤 康太郎		-	-	-	-	0	13		原田 太一		-	-	-	-	0
14		小川 流空		-	-	-	-	0	14		井ノ元 孝太朗		-	-	-	-	0
15	／	Batoumani Coulibaly		23	0	11	1	1	15	／	北橋 岳洋		0	0	0	0	0
16		吉本 大心		-	-	-	-	0	16		藪田 陽人		-	-	-	-	0
17		中元 優治郎		-	-	-	-	0	17	／	浅野 ケニー		0	0	0	0	3
18		葉山 隆誠		-	-	-	-	0	18		小川 敦也		-	-	-	-	0
コーチ		常田 健						0	コーチ		吉田 裕司						0
アシ		西村 彩						0	アシ		河合 祥樹						0
合 計				98	3	40	9	8	合 計				81	8	24	9	15

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

Score ranking[Team]

1	27	27.55%	矢澤 樹
2	23	23.47%	Batoumani Coulibaly
3	18	18.37%	中村 拓人

1	25	30.86%	飯尾 文哉
2	19	23.46%	星川 堅信
3	15	18.52%	納土 修太

Score ranking[Game]

1	27	矢澤 樹	中部大第一	2	25	飯尾 文哉	洛 南	3	23	Batoumani Coulibaly	中部大第一
---	----	------	-------	---	----	-------	-----	---	----	---------------------	-------

昨年の覇者洛南と、今大会でサイズ面では最も優位な中部大一の対戦。中部大一は、ロスターに2m台を2人そろえ、180cm未満が1人しかいない大型チーム。前半戦からその高さがモノを言う展開となった。ビッグマンがアウトサイドでもプレイできる中部大一は、高さを生かしたオフェンスで、2Q半には32-22と2ケタ得点差をつける。洛南はオフェンスのパス回しはできており、#5飯尾のロングレンジや速攻からの加点で応戦するが、中部大一は#15 Batoumaniのダンクも飛び出し、前半は52-35と中部大一がリードして終わった。

3Qに入っても中部大一の高さの優位性は崩れず、#8 Boubacarのゴール下、リバウンドからの速攻で加点していく。洛南は#12星川のターンアラウンド・フェイダウェイや#4笹山のロングレンジで対抗するが、ターンオーバーが目立ち点差を詰められない。一方の中部大一も、洛南のフルコートプレスとハーフのゾーンディフェンスに、決して簡単に攻められてはいなかったが、高さが要所で威力を発揮。洛南は#4笹山、#8永山のロングレンジなどで応戦するが、中部大一#8 Boubacarのポストプレイを止められず、点差はなかなか詰まらない。中部大一は、#15 Batoumaniのオフェンスリバウンドからのプットバックで70-55。この高さはいかんともしがたく、3Qを終わって72-58と中部大一が14点差のリードを保っていた。

4Qも口火を切ったのは中部大一#15 Batoumaniのゴール下。Batoumaniはさらにダンクを決め78-60とし、オフェンスリバウンドからのプットバックも沈め、ついに80-60と20点差がついてしまう。洛南は決死のフルコートプレスをしかけ、ハーフコートではゾーンディフェンスを敷いて対応するが、中部大一は落ち着きを保ち、#12深田が3Pを決めた時点で83-60と23点の大量リードを奪う。

中部大一は高さの優位性に加え、トランジションの素早さも備えた戦いぶり。洛南も#6納土がBatoumaniのブロックを交わしてレイアップを決め詰め寄るが、中部大一は逆にポストアップした#15 Batoumaniを起点とするインサイドアウトから、#6矢澤が3Pを沈めるなど最後まで主導権を譲らず、98-81でタイムアップ。中部大一が勝利を手にした。

文責 【 柴田 健 】